令和３年度　　学校図書館教育全体計画

教育目標の基盤	教育目標	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・長崎県教育振興基本計画 ・長崎市教育振興基本計画	◎　明日へ、希望の虹をかける子どもの育成 に　にっこり笑顔のある子 じ　じっくり学ぶ子 が　がまん強い子 お　思いやりのある子 か　体をきたえる子	○現代社会の要請 ○保護者・教師の願い ○家庭・地域社会の実態 ○児童の実態

目指す学校像

○笑顔ある楽しい学校
○生き生きとした学校
○地域と共にある学校

学校図書館の目的

①学校の教育課程の展開に寄与する。
②全うな教養を育成し、豊かな心を培い、豊かな生活を支える。
③豊富で精選された資料（本、雑誌、新聞などの印刷資料と視聴覚資料）を備え、子どもと教師へ提供する。
④広範な資料を利用する技能と情報処理能力の習得を目指す。
⑤生涯を通じて学校図書館、公共図書館を利用できる力を育てる。

学校図書館教育目標

学校図書館に関心をもち意欲的に利用する態度を育てる。（関心・意欲・態度）	学校図書館の資料を活用して学習を充実させ、自主的、自発的な学習活動の力を育てる。（学習・情報センターの機能の活用）	読書の楽しさや充実感を味わわせ、豊かな心情を育てる。（読書センターの機能の充実）

各学年の重点目標

低学年	図書館の楽しさがわかり図書館に興味をもつ。	基礎的な図書館の利用の仕方がわかる。	やさしい読み物を楽しんで読もうとする。
中学年	図書館の利用の仕方がわかり、読書の量と範囲を広げようとする。	図書館の利用の仕方や学習に必要な情報の探し方がわかる。	いろいろな読み物を楽しんで読もうとする。
高学年	図書館の仕組みや働きを理解し、自ら進んで学習や読書に利用できる。	図書館から、目的に応じて積極的に情報を探し、処理方法を知り、役立てることができる。	読書を楽しみながら、知識を増やしたり、考えを深めようとしたりする。

学校図書館の年間計画

各教科	道徳科	特別活動	総合的な学習の時間	外国語
○目的に応じた読書方法や主体的な読書の態度が身につくようにする。 ○情報や知識を収集・処理する能力を養う。	○様々な資料を通して、自分の考えと違う考えを尊重したり、自主的に判断したりする力を育てる。	○学級活動で学校図書館の利用の仕方や情報の適切な利用方法を身につける。	○多様な資料を活用し、課題の探求・解決を図ることで情報活用能力を高める。	○図書館にある外国語に関する資料を活用し、外国語に関する理解を高める。

学校図書館司書の活用